

2023
年度

入門編
実践編

一般社団法人 日本ケアマネジメント学会 認定ケアマネジャーの会

学会発表支援塾

～日頃の実践を事例研究につなげよう～

日本ケアマネジメント学会 認定ケアマネジャーの会では、ケアマネジャーの皆様が学術大会等において事例研究の発表ができるための支援として「学会発表支援塾」を2009年度より開催しています。これまで多くのケアマネジャーの皆様が学会発表支援塾を受講し、研究大会にて充実した内容の事例研究の発表を行っています。また、2015年度より当学会の研究発表が主任介護支援専門員の更新研修の要件に該当したことにより、本研修は注目を集めております。

2023年度も日本ケアマネジメント学会「第23回研究大会（神奈川）」の開催にあわせて、下記の日程で、「学会発表支援塾」を開催いたします。日頃の実践事例を事例研究に展開をする視点や抄録作成の手順、発表資料の作成方法等について実践的な指導・支援を行います。ぜひ、ご参加いただき、事例研究の発表を目指しましょう。

なお、「学会発表支援塾修了」または「学会発表」が認定ケアマネジャー研修のキャリアアップ「ミドルコース」へ進むための必須条件となっております。

1. 研修プログラム・開催方法

① 開催方法：オンライン開催（参加定員60名）

② 講師 入門編：福富 昌城氏 日本ケアマネジメント学会副理事長 花園大学教授
実践編：白木 裕子氏 日本ケアマネジメント学会副理事長 株式会社フジケア社長

	テーマ	達成目標
入門編	実践者における事例研究の重要性を学ぶ	ケアマネジメントの実践における研究の重要性を学ぶ。 研究の手法の実際を学ぶ。事例検討から研究への展開を学ぶ
実践編1	事例研究の実際を学ぶ	事例研究の内容と手順を理解し、研究事例を整理する。 ※「事例研究シート」の作成（学会HPに書式掲載）
実践編2	研究手法とそのプロセスを学ぶ	抄録作成の実際を学ぶ。 ※「抄録用紙」の記載（学会HPに書式掲載）
実践編3	魅力的なプレゼンテーションの実際を学ぶ	発表の実際を学ぶ。 ※パワーポイント・原稿の作成

2. 研修日程

入門編	2023年 7月29日（土）	10：30～16：30	受付10：00	※ZOOM
実践編1	2023年 9月10日（日）	10：30～16：30	受付10：00	※ZOOM
実践編2	2023年11月11日（土）	10：30～16：30	受付10：00	※ZOOM
実践編3	2023年12月16日（土）	10：30～16：30	受付10：00	※ZOOM

3.参加費

研修名	認定会員	学会員	その他
入門編	6,000円	7,000円	9,000円
実践編1	6,000円	7,000円	9,000円
実践編2	6,000円	7,000円	9,000円
実践編3	6,000円	7,000円	9,000円

※一括申込（入門編と実践編1～3すべて）の場合は合計金額から1,000円割引です。

※参加費振込み期限について

申込ごとに参加費の振込み期限があります。ホームページ確認の上、お早目の振込みをお願いいたします。

★振込み期限を過ぎますと研修会に参加できませんのでご注意ください。

※キャンセルについて 参加費の返金はできませんのでご了承ください。

4.申し込み・受付について

申し込みは日本ケアマネジメント学会ホームページからお願いいたします。
また、受講の申し込みは、各編単位でも受け付けます。参加受付登録が完了後、折り返し「受付番号」、参加費振込みの要項をメールいたします。

5.その他

～ 「入門編」の ZOOM 開催についての事前準備のお願い ～

各研修会3日前までに、ZOOMの招待メールと研修資料ダウンロードのパスワードを送ります。

- ① ZOOM 登録の際は、氏名は必ず漢字でフルネーム入力するようお願いいたします。
会員の方は会員番号を氏名の前に入れてください。
お名前が不明の方は研修会への参加ができません。
- ②資料に掲載の「オンライン研修の留意事項」を必ずお読みください。
- ③事前に資料とシートをダウンロードし、お手元に準備をお願いします。

～ シートの作成等について ～

実践編1では「事例研究検討シート」に記載して準備してください。
実践編2では「抄録シート」を作成して準備してください。

■ 問合せ先 日本ケアマネジメント学会事務局 担当：田口
電話 03-5919-2245 E-Mail：jscm@h4.dion.ne.jp

6. 支援塾卒業生の声



2022年度 卒業生

指定居宅介護支援事業所 はなみずき
管理者

佐藤 美沙枝さん (北海道)

第22回研究大会 優秀賞受賞

自分の仕事を何らかの形に残したいと思い、2022年度に学会発表支援塾を受講しました。数値化されない、評価しにくいマネジメントが、根拠に基づいた支援として文字や数値として残す、分析する、そのような力をつけたいと思ったことが受講のきっかけです。入門編、実践編1～3全て受講し、文字におこす作業には苦戦しましたが、ファシリテーターの方も丁寧にフォローしていただき、繰り返し抄録の修正作業や論点を整理することが出来ました。グループワークでは、1ケースずつグループメンバーと真剣に意見交換し共に学び、白木先生からも直接ご指導を頂く機会もありました。抄録作成が初めての私にとって、勉強しているのは私一人ではないという安心感と一体感があり心強かったです。発表は緊張しましたが、優秀賞を受賞することができ適切なお指導の賜物だと感謝しかありません。全国各地の仲間とも出会える貴重な機会でもありました。今後も研鑽を続けていきたいと思っております。



2020年度 卒業生

ご近所テラス札幌
管理者

秋場 隆章さん (北海道)

第20回研究大会 優秀賞受賞

私が、学会発表支援塾を受講したきっかけは、新型コロナウイルスで、外に出られないのを学びの機会にし、認定ケアマネジャーの資格更新に向けた準備もしたいと考えていたときでした。入門編 福富先生の講義で、「現場の実践者が発表することに意義がある！」ということを知り、自分の普段やっていたことを振り返るといふ気持ちで挑むことができました。続いて、実践編1～3では2ヶ月に1回のペースで、グループワークを繰り返し、質疑や意見をいただくことにより、「論点が明確になり、出された問題点を次回に修正していく」という過程を通じて、内容が洗練され、研究発表らしくなっていくのが感じられました。同時に資料や、他の論文を参考にしながら準備をしていくことで、自身の知識がより深められていることも感じました。私の発表した2021年はコロナ禍のためウェブ上での研究大会でしたが、おかげさまで、優秀賞に選ばれることができました。これも、全国各地からの支援塾参加者、ファシリテーターの方々と、講師の白木先生のご指導、ご鞭撻いただいたおかげだと、感謝しています。これから、発表したい、自分の実践を振り返りたいという方には、「全国の心強～い仲間と役員の皆様が親身に協力してくれるので、安心して参加して、スキルアップを目指していただきたい」ということをお伝えしたいと思っております。